

2023 年度 特待入試
第 1 回

国 語

〔注意事項〕

- 1 問題は一から四までです。
- 2 時間は 50 分です。
- 3 下敷きおよび電算機つきの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、濃くはっきりと書くようにして下さい。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないで下さい。
- 6 試験中はよそ見をせず、きちんとした態度で行って下さい。
- 7 何か物を落としたら、黙って手をあげて下さい。
- 8 他の受験生に迷惑となるような行為をしないで下さい。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。〔一〕〔十〕は段落番号である。

〔一〕 多くの夫婦がお子さんの誕生とともにお互いの呼び名を変える。「ダーリン」は「パパ」「とーちゃん」「お父さん」になり、「ハニー」は「ママ」「かーちゃん」「お母さん」になる。それどころか、子どもが生まれることで、なぜだか夫婦の両親まで呼び名が変わることがある。「お父さん」は「じーじ」に、「お母さん」は「ばーば」に昇格する。〔A〕、呼び名が変わるのは大人だけではない。例えば「さっちゃん」と呼ばれ続けてきた女の子も、弟や妹が生まれれば、両親からさえも「お姉ちゃん」と呼ばれ始めることがある。何が起きているのだろうか？

〔二〕 日本語の呼び名は、「その家庭内で一番小さな子の視点」にシフトするのだ。夫にとって妻は、その人の「ママ」ではない。〔B〕、妻は夫の子どものマダから、「ママ」と呼ばれる、という仕組みだ。視点は一番小さな子を基準とするから、上の子は「お姉ちゃん」「お兄ちゃん」に変身できるが、下の子は「妹ちゃん」「弟ちゃん」には変身できない。家族全員の呼び名が末っ子目線になるわけだから、末っ子はお得な地位だと言えなくもない。〔C〕、私は3人兄弟の末っ子であり、その恩恵を受けたとか受けなかったとか。

〔三〕 驚くべきことに、「一番小さな子」はまだ生まれていなくても良いらしい。初めて母子手帳をもらいにいった女性が、窓口の人に「〔X〕」と呼ばれて戸惑ったというエピソードを話してくれた。視点は胎児でもよいわけだ。

〔四〕 我々言語学者夫婦はこの仕組みを熟知しており、「私はあなたのお母さんではありません」という妻の主張から、夫婦同士では「お父さん」「お母さん」という呼び名は基本的に禁止されている。同じ理由で、上の娘を「お姉ちゃん」とも呼ばないし、私は自分の両親を「じーじ」「ばーば」とは呼びたくない。特に後者は、自分が発言する時には、ちょっと意地になるくらいに貫いている。「自分の視点」と「自分の娘の視点」を混ぜてしまうことが、娘にかこつけた甘えのように感じられてしまうのだ（注：あくまで個人的な感想です）。ま、これも言語学者ならではのこだわりとも言える。

〔五〕 ちなみに、英語ではこの「視点のシフト」は基本的に起きないから、英語を話している時に同じことをしたら大変だ。自分の妻を「mom」と呼んだら、「なに？ マザコン？」と冷たい目で見られるだろうことが容易に想像できる。これは英語をしゃべる際には気をつけた方がよいポイントだ。ただし、親が子どもに話しかける時に「お父さんが、これやってあげるね」と、一人称の「I」の代わりに「お父さん」という表現を使うことはある。つまり、自分と子どもの視点が一体化してしまうわけだ。〔2〕この例は日本語で起こる現象と少し似ている。

〔六〕 私の経験では、古来の日本語方式で、子どもが生まれると「パパ」「ママ」と呼び合い始める夫婦と、わざわざ子どもの視点に合わせず、子どもが生まれる前からの呼び方を続ける夫婦が半々くらいだと思う。時代とともに後者の方が増えている気もする。アンケートをとったら面白い結果になりそうだ。

〔七〕 〔D〕、こんな言語学者夫婦だが、最近気が付いた。妻が私を「とーちゃん」と呼ぶことがあることに。そして、その呼ぶ時に法則性があることに。そもそも、「私はあなたのお母さんではないから、『ママ』とか『お母さん』とは呼ばないで」と言い出したのは妻だ（ったような気がする）。その彼女が、私を「とーちゃん」と呼ぶ時がある……。

八 それはどんな時か。そう、私をたしなめる時や私に注意する時である。例えば、「とーちゃん、そこらかっているよ」「とーちゃん、ごはんつぶ残さず綺麗に食べて」というように。

九 しかし、これは非常に有効な戦略と言わざるを得ない。「とーちゃん」と呼ぶことで、その発言は娘視点であることを含意する。娘から「ちらかっているよ」と注意されれば仕方がなく片付けるが、妻から「ちらかっているよ(怒)」と言われれば夫婦喧嘩の種になりかねない。また、妻から「起きなさい」と言われれば「あと10分」となるが、娘に「もうおきて」と言われれば「はい、おきる」となる。

十 意識的にか、はたまた妻の無意識の家庭内平和への本能か。どちらにしても、これまた便利な使い分け方だなあと思う。ま、妻も言語学者だから、前者かな。いや、でも妻としても頼りになる彼女だから、本能的に家庭円満への道を舗装してくれているのかもしれない。この点についてあまり深く分析するのも野暮な話だから、やめておこう。

川原繁人『フリースタイル言語学』より

* mom……英語における母親の呼び方。

* I……英語における一人称。

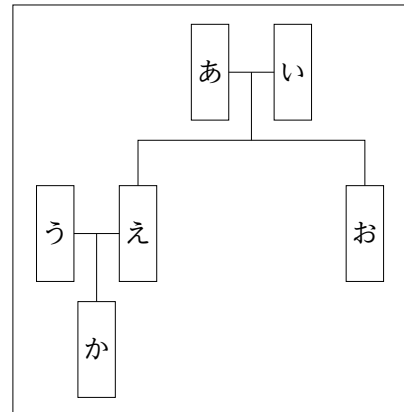
* 含意……意味をふくむこと。

問一 空欄 A 〽 D に入る語として最も適するものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア さて イ つまり ウ ちなみに エ しかし オ また

問二 空欄 X に入る語を本文中から五字以内で抜き出し答えなさい。

問三 左は同居している家庭を示した図である。——部①「この仕組み」に従ったとき、家庭内での「い」「お」の呼び名をそれぞれひらがなで答えなさい。なお、「い」は女性、「お」は男性で、最年少の人物は「か」とする。



問四 ——部②「この例は日本語で起こる現象と少し似ている」とあるがどういふことか。四十字以内で説明しなさい。

問五 ——部③「アンケートをとったら面白い結果になりそうだ」とあるがそれはなぜ「面白い」のか。その説明として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 家族の呼び方が変化しても家族のあり方は昔と変わらないとわかるから。
- イ 人の呼び方の問題は誰が調べてみても楽しんでもらえるものだから。
- ウ 面白いという表現で読者に家族の呼び方に興味関心を持ってもらいたから。
- エ 現代の家庭観が徐々に変わっていることを示せるように思えたから。

問六 ——部④「ま、妻も言語学者だから、前者かな」とあるがそれはどういふことか。五十字以内で説明しなさい。

問七 次の文は本文中のある段落の末尾にあったものです。どの段落にあったものを段落番号で答えなさい。

この原稿を推敲した日の朝も、「とーちゃん、朝だよー。おきてー！」と起こされたことは記憶に新しい。

二次の文章を読み、「ノート」を参考にし、後の問いに答えなさい。

* 回虫は、鉤虫、鞭虫とともに「土壤媒介寄生虫」とよばれる。回虫の受精卵は湿った土の中で発育し、感染能力のある幼虫保有卵（成熟卵）となる。つまり、感染できるようになるために、土の中での熟成が必要なのだ。有機野菜が育つ土は、そのための絶好の環境が整っている。成熟卵は有機野菜とともに出荷され、しっかり洗浄されないまま生食されると、人の体内への潜入に成功する。胃にたどり着き、胃酸で卵殻が溶けると、幼虫が放出される。こうして孵化した幼虫は小腸の壁を通り抜けて血管（静脈）に入り込み、肝臓、横隔膜を通じてさらに肺へと到達する。

1ミリ大まで成長した幼虫は、気道を上に進み、のどから再び消化管へと戻る。そして、小腸で成虫になる。この体内の冒険旅行には、3〜4か月がかかるが、成虫になると寿命が尽きるまでの2〜4年をおとなしく小腸で過ごす。回虫はオスメスが別々なので、受精卵をつくるには最低2匹の寄生が必要となる。成虫は20〜35センチの長さで、メスがオスより大きい。

* この男性は、胃粘膜にピロリ菌が感染していたものの、幸い、胃がんはみつからなかった。回虫を発見した主治医は、駆虫薬のコンバントリン（一般名…ピランテルパモ酸塩）を処方した。1回の服用で、2日後に便から死んだメス成虫が回収された。

回虫症は世界中で10億人もの人たちがかかり、高度の寄生による腸閉塞によって、年間1万人の子供たちの命を奪っている^①と推定されている。とくに、東南アジアでの感染率が高い。日本でも、戦後の一時期は回虫症の全盛期だった。現在ではほぼ撲滅状態に近い。これは、小中学生の検便の義務化、肥料としての尿利用の衰退、駆虫薬の普及による。最近では、有機栽培野菜や輸入韓国産（とくに済州島産）キムチによる回虫感染がときどき報告される程度である（小中学生の検便はもう行なわれていない）。

すでに定年退官した筆者の子どものころは、回虫がまだ当たり前に寄生していた時代だった。私自身も、小学5年生の昭和37年（1962年）、夏休み前の回虫卵検査で陽性と判明。担任の先生に「虫が虫垂に迷いこむと、虫垂炎（盲腸）の原因になる」と諭され、オレンジ色の駆虫薬、カイニン酸を飲んだ。夏休みに林の中でセミ捕りをしていると、急に便意をもよおしたため、木の根元にそっと排泄した。その便をみて、心臓が破裂するほど驚いた。まるでスパゲッティかうどんのような真っ白な虫の塊が、土の上に鎮座していたのだ。絡みあった虫は動いていなかったように思う（カイニン酸のおかげでムシが死滅し、その塊が便意を誘発したのだろう）。便の色はなく、まさにムシの塊だった！ 何匹いたかを数える間もなく、土をかけると「お母さん」と泣き叫びつつ、自宅に走り戻った。③おかげで、今でも花粉症に悩まずに済んでいる。

そのわけを説明しよう。東京医科大学名誉教授の藤田紘一郎博士は、ヒト回虫の寄生がアトピー性皮膚炎、花粉症、アレルギー性鼻炎や気管支喘息などのアレルギー性疾患に防止効果があると説いている（『笑うカイチュウ』講談社、1999年、『アレルギーの9割は腸で治る！』だいわ文庫、2011年）。

寄生虫に寄生されると、ヒトは大量の「IgE抗体」を産出し、アレルギーのもととなる「抗アレルギーIgE抗体」の産出を抑制する（アレルギーとはアレルギーの原因物質のこと）。IgEは、好酸球（赤く染まる顆粒をもつ白血球）とともにアレルギー反応の主役を果たす、血液中の免疫グロブリンの一つである。近年のアレルギー性疾患の急増と回虫保有率の低下は逆相関している。1960年代の日本の回虫寄生率は都市部で30〜40%、農村部では60%に及んだが、最近では0.02%にまで激減し、世界最低のレベルを誇っている。言い換えれば、回虫やサナダムシをおなかに飼えば、喘息や花粉症を防ぐことができるというわけだ。藤田教授は自ら数メートルあるサナダムシと仲よく暮らし、アレルギーと無縁の生活を送っている。

というわけで、ここに紹介した患者さんは駆除する必要がなかっただけでなく、アレルギーの予防効果もあきらめることになってしまった。回虫たちは子孫を残すために、寄生した宿主を攻撃することなく「A」暮らすのが戦略である。1匹や2匹いたところで人体には何の害もないことをぜひわかってほしい。1匹では回虫は子孫を残せないのだ。小学生のころの筆者は、「B」盛りの回虫をおなかの中に飼っていたが、症状があった覚えは全くない。

堤寛『感染症大全 病理医だけが知っているウイルス・細菌・寄生虫のはなし』より

* 回虫……この場合はヒト回虫を指す。人の小腸内に寄生し、成虫になると体長は20〜25センチになる。鉤虫・鞭虫も、回虫と同じように人の体内に寄生する。

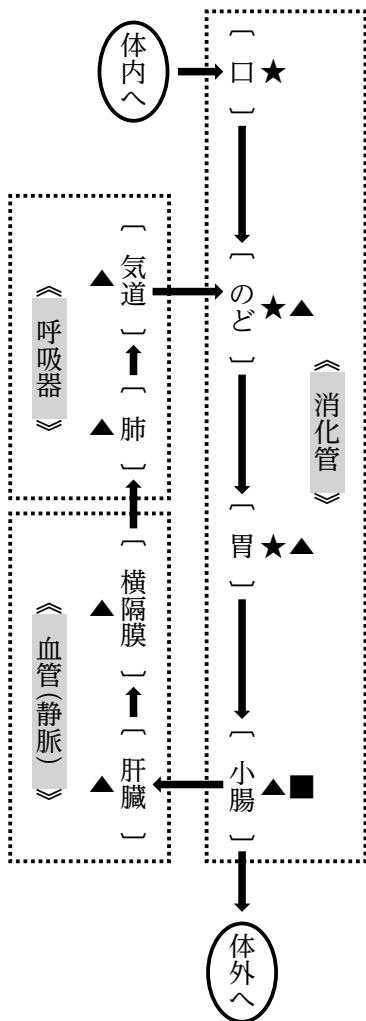
* この男性……引用部分の前に紹介されている50代の男性患者を指す。

* 腸閉塞……腸管の一部がふさがってしまう病気。

* 尿管……大便と小便。

* ここに紹介した患者さん……前述の「この男性」に同じ。

【アト】



問一 ―― 部①「この体内の冒険旅行」を、ある生徒が【ノート】の図のようにまとめた。図に書き込まれている▲■★は、回虫がどのような形態でいるかを記号で示したものである。①▲②■③★が示す回虫の形態にふさわしい用語を、それぞれ文中から抜き出しなさい。

問二 ―― 部②「お母さん」と泣き叫びつつ」とあるが、この時の筆者の気持ちを説明しなさい。

問三 ―― 部③「おかげで、今でも花粉症に悩まずに済んでいる」とあるが、花粉症にならないのが回虫のおかげである理由を説明しなさい。

問四 ―― 部④「駆除する必要がなかった」とあるが、その理由としてふさわしくないものを次の中からふたつ選び、記号で答えなさい。

ア 患者に寄生していたのは、メス成虫が1匹だけでこれ以上増えないから。

イ 患者に寄生していたのは、メス成虫が1匹だけで4か月ほどで死ぬから。

ウ 患者に寄生していたのは、メス成虫が1匹だけで人体には害がないから。

エ 患者に寄生していたのは、メス成虫が1匹だけでオスよりも大きいから。

オ 患者に寄生していたのは、メス成虫が1匹だけで子孫を残せないから。

問五 「A」に入れるのに最も適する表現を次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア ひっそりと イ あっさりと ウ まったりと エ ゆったりと

問六 「B」盛り」は「うずたかく盛ること。山盛り。」という意味である。「B」に入れるのにふさわしい表現を考え、ひらがな三字で答えなさい。

問七 この文章の表現の特徴について、次の中から説明として適するものをふたつ選び、記号で答えなさい。

ア 難しい専門用語を言い換えたり、さらに説明を補ったりすることによって、読者が理解しやすいよう工夫している。

イ 自分の子どもの頃の悲惨な体験を示すことによって、身近な危険があることを読者が実感できるようにしている。

ウ 高度に進んだ医学や社会のあり方が、反対に特定の病気を増加させている現状を、皮肉たっぷりに批判している。

エ 一般には害があると思われる回虫が人体にもたらす良い影響をユーモラスな文体で分かりやすく伝えていく。

オ 科学的な文章であるが、主観的・心情的な表現を多用することで、回虫撲滅の重要性を強くうたったえかけている。

三 □部の漢字が、例文A～Eと同じ意味で用いられているものをア～エから選び、記号で答えなさい。

A 彼女にだけ秘密をもらす。

ア あらためて精密な検査をする。

ウ 重要な問題について密談する。

イ 二人の仲は親密の度を加えたようだ。

エ 厳密には同じものとは言えない。

B 漢字に日本語をあてて読むことを訓読という。

ア 漢和辞典を音訓読みで引く。

ウ 日頃からの訓練が大切だ。

イ 会社から訓告処分を受ける。

エ 偉人の伝記から教訓を得る。

C この春、彼の次女が大学に進学したそうだ。

ア 社会における女性の地位向上が課題だ。

ウ 歴史では悲劇の王女と言われていた。

イ 少女のような感性を大切にする。

エ 女子という言葉がよく使われるようになった。

D 問題を早急に解決したい。

ア 早口でしゃべるから聞き取りにくい。

ウ 野球が日本で行われた早期に活躍した。

イ 早春の風景をスケッチする。

エ 早朝から元気がいい人。

E この夏は電力不足が心配された。

ア 中学校はじめての遠足に出かける。

ウ 身長も高く、手足が長い。

イ テストの結果は満足のいくものだった。

エ 物干しざおには靴下が三足干してあった。

四 次の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- 1 人類のキゲンを研究する。
- 2 賞味キゲンは明日までだ。
- 3 この調査は小学生をタイショウとしてしている。
- 4 性格がタイショウ的な二人だ。
- 5 彼はまるでお山のタイショウだ。

